16年度 東北146校、熊本94校支援

ベルマーク教育助成財団が2016年度に実施した事業について報告します。5月15日の財団理事会と6月1日の財団評議員会で審議され、事業内容・決算とも適正と承認されました。

①参加団体の集票点数

16年度の集票は4億7201万点でした。前年度を789万点(1・6%)下回り、前年度に引き続き5億円台を割り込みました。個人消費の弱含みで推移した経済情勢の反映とみられます。

②設備品購入額

お買い物の総額は、5億64万円でした。前年度を316万円(2・6%)下回りました。リオ五輪の日本選手団の活躍が影響したのか、秋以降、卓球台の注目が目立ちました。デジカメ、鉛筆削り、ボール類、一輪車は定番の人気商品です。運動が始まった1960年からの累計は、約2611億円です。教材のお買い物需要は根強いものがあり、前年度比で微減となりましたが、依然5億円台をキープしています。参加団体には全体で18億円の預金残高があり、有効に使われるように運動説明会やベルマーク新聞で働きかけました。その効果もあったようです。

③参加団体の数

今年3月末で2万7349団体です。247団体減りました。少子化や学校の統廃合による微減傾向が続いています。

④被災校支援

【東日本大震災被災校】

岩手・宮城・福島3県の計146校に総合3336万円相当の学用品等を支援しました。東北被災地では授業で使う大型テレビや電子教材、教室の時計など日常的な物品を必要とする学校がまだあり、中学校ではクラブ活動で津波被災していない内陸に移動して活動するためのバス代支援が喜ばれています。被災地の子どもたちの「学び」を助けるなど、学校では対応しにくい分野でボランティア的に活動する「寺子屋」事業の3団体に計150万円、公害から立ち上がった熊本県水俣市と福島県の中学生たちが共に「復興」を考える「福島・水俣教育交流事業」に50万円を寄付しました。

【熊本地震被災校】

熊本・大分両県の計94校に総額2762万円相当の学用品、補助食品等(補正予算を組みました)を支援しました。テレビやカメラなど映像・画像関係の設備や地震で壊れた備品など公的支援が追い付かない、小回りの効いた支援ができました。

⑤教育援助事業

【へき地学校支援】

前年に引き続き、100校に総額372万円を支援しました。うち視聴覚・理科機器や楽器、体育用品など3022万円相当の設備品を贈りました。出前授業は、一輪車講習会・理科実験・演劇を19校で実施しました。

【特別支援学校支援】

養護学校20校、盲学校17校、聾学校21校と、病院内学級4学級に合計1584万円相当の設備品を贈りました。養護学校には視聴覚機材等、盲学校には卓上型拡大読書器、聾学校には短焦点プロジェクター、病院内学級にはパソコン等を贈りました。

【開発途上国の学校などへの援助】

参加団体(学校等)がベルマーク預金から寄付して下さる資金と財団の予算を合わせて、開発途上国の学校、図書館建設、保健教育活動などを支援しています。アジア・アフリカなどで活動する8団体を通じて、7カ国に計410万円を支援しました。参加団体からの、この寄付を「友愛援助」と呼んでいます。

【日本人学校】

アジア、ヨーロッパ、北米の3ヵ国4校に支援しました。

⑥協賛会社・協力会社

商品にベルマークをつけている協賛会社です。16年度末現在、55社(前年同期比1社減)です。年度内の変動としては、16年4月に岩塚製菓(米菓)が加入、15年3月に一旦脱退したナカバヤシ(学習帳)が再加入しました。一方、サンスター文具、森永乳業、ネオファースト生命が脱退しました。全体では2増3減でした。新年度になりますが、ニチレイ(冷凍食品)が17年4月1日に加入しました。17年度期首では56社(前年度期首比2社減)になります。

教材販売に伴い寄付をしてくれる協力会社は15社で変動ありません。

⑦運動推進事業・広報宣伝事業

【運動説明会】

年度ごとに替わるPTA役員に対しビジットにも協力いただいている教育評論家の尾木直樹さんに登場していただきました。

⑧新たな広がり

【企業等のマーク集めの拡大】

近くの学校や災害被災校にマークを贈りたいと、企業や労組、東大阪市のような自治体がベルマークを集める申し出が増えています。16年には愛知県豊橋市から「ベルマーク運動日本一のまちを目指す」との申し出がありました。財団職員を派遣して収集・集計法を伝え、拡大を図りました。

【ベルマーク大使】

15年12月に任命させていただいた7人の大使に、それぞれのお仕事、生活の場で多大な尽力をいただきました。山梨県上野原市立上野原小学校が集めたマークの仕分けを50年以上コツコツ続けて来られた幡野たいさん(17年4月で100歳)は、同市の市政功労賞(善行賞)に選ばれ、「ベルマークは生きがい」と話しました。

【財団運営】

「ベルマーク預金」を統合しました。従来、三井住友信託に参加団体(PTA)ごとに設けていた「ベルマーク預金口座」を財団の口座に一括し、その中で参加団体ごとに残高を管理していくシステム変更に着手しました。新規口座開設要件が厳しくなった時代の流れに対応し、2万7千余の口座を個別に管理するシステム負担を軽減するためです。17年4月に口座の移管が完了しました。

ファミリーマートが「ありがとうの手紙」

感謝の気持ちを手紙でつづる「ありがとうの手紙コンテスト」の作品を、協賛会社のファミリーマート(ベルマーク番号23)が募集しています。対象は小学生。普段はなかなか言えない「ありがとう」をどうやって文字や言葉で表現し、伝えるかを考えることで、感謝の気持ちや思いやりを育み、豊かな感性を育てることを目的に毎年実施しています。今年で9回目を迎え、昨年度は3万8806通の応募がありました。

作品は一人1点、オリジナルの未発表作品に限ります。締め切りは9月30日必着。全国を7ブロックに分け、低学年(1・2年)、中学年(3・4年)、高学年(5・6年)の3部門で、一次、二次、最終の3段階で審査されます。審査員長は池上彰さん、審査員は児童文学者のこやま峰子さん、小峰書店社長の小峰紀雄さん、東京純心大学こども文化学科客員教授の野上暁さんと、ファミリーマート常務執行役員の久保勲さんです。

池上さんは「今回も新しい驚きや感動との出合いを楽しみにしています」と期待を寄せています。

小学生を対象 感謝つづる作品を募集

7ブロックごとに3部門の「最優秀作品賞」21人に表彰状と記念品、1万円分の図書カード、「審査員特別賞」35人に表彰状と3千円分の図書カード、「学校・団体賞」7校・団体に表彰状と10万円分の図書カードが贈られます。応募者全員には参加賞があります。発表は12月中旬、ファミリーマートホームページで。

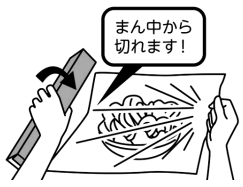
詳しくは、(http://www.family.co.jp/company/csr/children/thanks_letter/2017.html)で。手紙を書くには何から始めればいいのか、誰に、どうやって書けばいいのかを説明した「コンテンツ集」や、過去の受賞作品や表彰式の様子を紹介し、充実しています。審査員各氏からのメッセージも掲載しています。

問い合わせは、「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」事務局(電話0120-611260=平日午前10時～午後5時)へ。

財団からの「お知らせ」

クルリとクレハカット

ラップがまとわりつかない簡単な切り方を、協賛会社のクレハ(ベルマーク番号10)が推奨しています。ラップの箱を持った側の手首をクルリと内側に回す。たったこれだけで、ラップが真ん中から切れて、お皿のサイズに合わせてムダがなく、まとわりつきません。巻き戻りも防げます。切りやすさの秘密は刃がV字形になっているからです。



意外と知られていないそうで、同社に問い合わせも寄せられるそうです。

豆小鉢に三色豆新発売

協賛会社のフジッコ(ベルマーク番号65)がおまめさん豆小鉢シリーズに三色豆を新発売しました。ひよこ豆(黄)・赤いんげん(赤)・うぐいす(緑)の3色。原料原産地はいずれもカナダ産です。商品情報はこちら(http://www.fujicco.co.jp/products/list.php?id=6)

おまめさん豆小鉢シリーズ の三色豆、やさい豆、こんぶ豆、きんとき、黒豆はいずれも標準小売価格(税抜)170円、ベルマーク2点がついています。

愛される文具 新案募集

協賛会社のクツワ(ベルマーク番号55)が、「100年後も愛される文具」のアイデアを募集しています。今年で6回目。クツワ商品をもとに、文具や事務用品、特に子どもの学用品を「進化」させるアイデアを考えてください。7月31日必着。「斬新で機能やデザインに優れ、付加価値があるもの」「商品化の可能性があるもの」を基準に社内で審査し、大賞1点に賞状と10万円分の商品券を贈るほか、複数の優秀賞、入賞アイデアにも図書カードを贈呈します。発表は10月2日にクツワホームページ上で。詳しい要領や応募用紙のダウンロードは(http://www.kutsuwa.co.jp/community/)から。

問い合わせはクツワのサービスセンター(電話06・6745・5611、平日午前10時から午後5時)へ。

今夏も「キッズパーク」

協賛会社のキヤノンマーケティングジャパン(ベルマーク番号19)が、今年も夏休みの小学生向けに、キヤノンのショールームを会場に体験型イベント「キヤノンキッズパーク2017」を開催します。全国の学校やテレビなどで活躍する環境パフォーマー「らんま先生」によるショー(東京・品川、大阪)や、「親子ですてきなペット写真を撮ろう」(品川、名古屋、大阪)、「親子でかっこいい鉄道写真を撮ろう!」(品川)はじめ、ショールームスタッフやエンジニア体験ができたり、リサイクルやデジタル一眼レフカメラの構造について学べたり、盛りだくさんの内容です。すべて無料です。

会場によって内容や開催日時、締め切りが異なります。一部のイベントは締め切り間近です。詳しくは専用サイト(http://cweb.canon.jp/kidspark2017/index.html)で。

「ベル便りコン」募集中

第32回ベルマーク便りコンクールの作品を募集しています。学校や幼稚園から、保護者家庭や子どもたち、地域の人たちに向けてベルマークの収集や協力を呼びかけるお知らせや新聞、広報紙をベルマーク財団にお送りください。

【応募方法】

皆さんが発行したお知らせや広報紙をはじめ、特集号や冊子など過去1年以内(2016年10月1日～2017年9月30日)に製作されたものが対象となります。

サイズやカラー、白黒は問いません。年間の活動状況が見て分かるように、なるべく多くの作品を送ってください。肖像権や著作権上で問題となる可能性がある内容については、審査の対象外となる場合があります。

【あて先】

〒104・0045　東京都中央区築地5－4－18　汐留イーストサイドビル7階　ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」

【締め切り】

2017年9月30日消印有効

【賞金と参加賞】

優秀賞10点に各3万円と副賞として額入り表彰状、佳作10点と特別賞に各1万円と額入り表彰状を贈呈します。ほかの応募団体には参加賞として2000円の図書カードを贈ります。

【入賞発表】

11月に財団ホームページで入賞校を発表し、「ベルマーク新聞」新年号(2018年1月10日発行予定)でも紹介します。

財団見学受け付けています

ベルマーク財団は事務所(東京都中央区築地)見学を随時、受け付けています(平日のみ、事前予約制)。広報部員が案内し、財団の仕事やマーク点検について説明します。個人、グループを問いません。小学生は保護者か、教職員が同伴してください。問い合わせはベルマーク財団広報部(電話03―5148―7253、平日午前9時～午後5時)へ。

大台達成校

4月、数字は累計点数

城北小	神奈川県横須賀市	7,006,616
新番丁小	高松市	7,002,042
中央小	高松市	5,002,406
城南小	福岡市城南区	5,004,301
円山小	札幌市中央区	4,055,856
旭ケ丘小	青森県八戸市	4,005,822
町田第三小	東京都町田市	4,019,567
大師小	川崎市川崎区	4,037,162
上里小	さいたま市岩槻区	3,019,241
萱田小	千葉県八千代市	3,005,900
桃井第三小	東京都杉並区	3,008,947
羽沢小	横浜市神奈川区	3,036,694
井波小	富山県南砺市	3,042,862
梅林小	広島市安佐南区	3,003,622
大町ひじり学園	佐賀県大町町	3,015,982
聖ウルスラ学院英智小中高等学校	仙台市若林区	2,019,582
かぴら幼稚園	埼玉県坂戸市	2,005,781
沼影小	さいたま市南区	2,019,132
笹目東小	埼玉県戸田市	2,000,467
南港桜小	大阪市住之江区	2,001,596
三井小	山口県光市	2,009,763
きらきら星幼稚園	福岡県行橋市	2,006,028
二見西小	兵庫県明石市	1,033,452
松原小	和歌山県美浜町	1,005,006
宜山ひかり保育園	広島県福山市	1,011,999
志度幼稚園	香川県さぬき市	1,006,329
城西中学校	佐賀市	1,021,331

5月

徳山小	山口県周南市	8,070,403
植竹小	さいたま市北区	7,009,911
第一福田小	岡山県倉敷市	6,011,807
椿小	松山市	6,209,629
本山中学校	神戸市東灘区	5,011,916
外旭川小	秋田市	4,019,657
練馬東小	東京都練馬区	3,012,666
広幡こども園	静岡県藤枝市	3,018,539
羽鳥小	茨城県小美玉市	2,102,794
安行東小	埼玉県川口市	2,010,948
鶴川第三小	東京都町田市	2,013,823
二谷小	横浜市神奈川区	2,019,646
時津東小	長崎県時津町	2,003,190
東町小	北海道旭川市	1,006,163
米崎小	岩手県陸前高田市	1,034,859
宮野浦小	山形県酒田市	1,124,646
愛知学泉大学附属幼稚園	愛知県安城市	1,002,505
東部中学校	愛知県犬山市	1,018,217
旭ケ丘小	大阪府柏原市	1,000,633
堀川小	大阪市北区	1,000,300
大阪府立富田林支援学校	大阪府富田林市	1,018,579

6月

箱崎小	福岡市東区	6,002,244
余土小	松山市	5,005,745
筒井小	青森市	4,022,105
中郷小	青森県黒石市	4,097,864
川中島小	川崎市川崎区	4,010,277
片瀬小	神奈川県藤沢市	4,067,587
神陵台愛徳幼稚園	神戸市垂水区	4,033,685
仲本小	さいたま市浦和区	3,043,827
古賀小	長崎市	3,021,050
相浦小	長崎県佐世保市	3,008,101
高野小	茨城県ひたちなか市	2,004,197
認定こども園青木リズム	静岡県富士宮市	2,000,367
佃西小	大阪市西淀川区	2,023,818
家島小	兵庫県姫路市	2,004,842
北海道大学女性研究者支援室	札幌市北区	1,090,602
あぶくま養護学校	福島県郡山市	1,041,182
清心保育園	岡山県倉敷市	1,027,399
安徳北小	福岡県那珂川町	1,011,063
向陽小	鹿児島市	1,023,838

小学生を対象にマヨネーズ教室

キユーピー

協賛企業のキユーピー(ベルマーク番号07)は小学生に食の楽しさを伝える「マヨネーズ教室」を実施しています。2002年から続けており、普段、当たり前のように口にしているマヨネーズがどうやって作られているかを学び、実際にマヨネーズを手作りして、水(酢)と油が混ざり合う「乳化」の仕組みを実体験します。

13年には社内認定制度「マヨスター」を発足させ、試験に合格したキユーピーグループの従業員が学校を訪ねます。この制度が発足した13年度は22人でしたが、15年度には一気に131人に増えて、現在は全国で167人のマヨスターが活躍しています。さらに取得を目指す従業員が増えているそうです。

これに伴い「マヨネーズ教室」の開催も15年度、16年度と2年連続して400件を超えました。16年度は児童数にすると、2万3332人の小学生がマヨネーズ作りを経験したそうです。

「マヨスター」の役割は、マヨネーズ教室でマヨネーズの製法を教えることだけではありません。子どもたちの実体験を通して衛生・科学などの知識を伝えながら、食の楽しさと大切さを実感してもらうことにあります。教室の最後には自分たちで手作りしたマヨネーズを野菜につけて味わいます。苦手な野菜が食べられるようになる事例も多く聞かれて、喜ばれているそうです。

時間は約90分。無料です。詳しくは(https://www.kewpie.co.jp/company/activity/food/03/)。問い合わせ、申し込みは、マヨネーズ教室運営事務局(電話03・5202・6063、ファクス03・5202・6066、メールdemae@hosoiga.co.jp)へ。

湖池屋が発売55周年企画

5団体に5万点 50団体にのり塩

協賛会社の湖池屋(ベルマーク番号77)が、5団体に5万点、50団体にポテトチップスのり塩が当たるキャンペーンを実施中です。コイケヤポテトチップスのり塩が今年で発売55周年を迎えたのを記念した企画です。

「ベルマークコース」は、抽選で5団体にベルマーク5万点がベルマーク口座に積立されます。積立時期は当選後、学校・団体と事前連絡して決めます。「のり塩コース」は、抽選で50団体に全員分の「30g ポテトチップスのり塩」がプレゼントされます。ベルマーク運動に参加登録している学校・団体が対象です。応募締切は12月8日(金)。

詳細と応募方法は、こちら(https://koikeya.co.jp/bellmarkcp/)から。問い合わせは湖池屋ベルマークキャンペーン事務局(電話0120・945・702、午前9時～午後5時、土・日、祝日を除く)へ。

参加型で学べるおこづかい教室

ジブラルタ生命

全国で3万人以上が受講しているのが、協賛企業ジブラルタ生命(ベルマーク番号15)が開催している保護者向けの「おこづかい教育出前教室」です。日本PTA全国協議会推薦図書「8歳からのお給料袋」をもとに専用のテキストを使って、おこづかいを通して、子どもの「生きる力」を醸成することを目指します。「お金の力・便利さ」と同時に「怖さ」も伝える内容です。

参加型セミナーで受講者同士で意見交換し、さまざまな価値観や考え方があることも学べます。「こういう時、どうすればいいの?」といった質問や悩みにも答えてもらえます。講師は認定NPO法人「金融知力普及協会」の「金融知力インストラクター」資格をもった同社社員です。詳しくは(http://okozkai.gib-life.co.jp/)へ。

評議員3氏が交代

ベルマーク教育助成財団(銭谷眞美理事長)は6月1日、評議員会を開き、評議員9人のうち役職異動に伴い、小滝岩夫氏、氏岡真弓氏、中西豊樹氏の3人が退任し、新たな評議員に内藤信氏、各務滋氏、河内哲嗣氏の3人を選任しました。任期満了を迎えた理事8人全員と、監事2人を再任しました。理事長は、引き続き銭谷氏が務めます。

◇

7月現在のベルマーク財団の理事・監事・評議員は次の通りです。

(敬称略)

理事長　銭谷眞美(東京国立博物館長)

専務理事　西村陽一(朝日新聞社常務取締役編集担当)

常務理事　中島泰(元朝日新聞社論説副主幹)

理事　渡辺通弘(昭和音楽大学名誉教授)、川淵三郎(日本サッカー協会最高顧問)、内海孝(東京外国語大学名誉教授)、黒田玲子(東京理科大学教授)、神垣清水(元公正取引委員)、真砂靖(弁護士)

監事　杉浦文彦(公認会計士)、小西勝英(朝日新聞社取締役財務担当兼財務本部長)

評議員　加藤寿一(日本PTA全国協議会元副会長)、内藤信(全国連合小学校長会事務局長)、堀井榮夫(全日本中学校長会事務局長)、小栗洋(全国高等学校長協会事務局長)、野村昌彦(弁護士)、田嶋一(國學院大學文学部教授)、各務滋(朝日新聞社論説委員)、鈴木健(朝日新聞社CSR推進部企画委員)、河内哲嗣(朝日新聞社大阪本社編集局長補佐)

愛は食卓にある。kewpie

「卵のコク」が、おいしさの秘密です。

卵のコクがより感じられる、シンプルな配合。
カロリーオフとは思えないおいしさと満足感をおとどけします。

キューピーハーフ
www.qphalf.com